

タイワンシジミ種群

分類群	その他	原産	中国、台湾
学名	Corbicula fluminea species group	分布	金目川・相模川水系
科名	シジミ科		
区分	防除種B		
特長	在来種であるマシジミ、大陸産チョウセンマシジミに極めて類似している。殻表面の色彩や殻形や成長脈などの彫刻にもかなりの変異がある。	侵入経路	渓流域でのカワニナ放流などの際に混入している。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	放流を禁止し、他の養殖貝や魚に混入していないか注意を払う。
その他	特殊な繁殖特性により、在来種であるマシジミの繁殖・生存を抑制してマシジミ個体群に影響を与える。		

コモチカワツボ

分類群	その他	原産	ニュージーランド
学名	Potamopyrgus antipodarum	分布	鎌倉、箱根、湯河原
科名	ミズツボ科		
区分	防除種B		
特長	殻高4mmほどの巻貝。単為生殖を行うとされており、乾燥に強く、水鳥の体に付着して遠くへ運ばれることもある。また、高い分散能力をもち、淡水魚に捕食されても生きてそのまま消化管を通過することができる。	侵入経路	養殖魚介類の種苗に混入して侵入している。
影響	競合、駆逐	防除方法	不明
その他	今後の分布拡大が懸念される。		

サカマキガイ

分類群	その他	原産	ヨーロッパ
学名	<i>Physa acuta</i>	分布	川崎市下谷池ほか
科名	サカマキガイ科		
区分	防除種B		
特長	殻高10～15mmほどの巻貝。繁殖力が旺盛で、都市の下水路などで夥しいほどの数が認められる。	侵入経路	養殖魚介類の種苗に混入して侵入している。
影響	競合、駆逐	防除方法	不明
その他	浄化槽で増殖した場合、餌資源として浄化槽の生物膜を食いつくし、処理効率に負の影響を与える。		

アメリカザリガニ

分類群	その他	原産	アメリカ
学名	<i>Procambarus clarkii</i>	分布	全国的に分布。丹沢大山の集落近くの水田などに分布。
科名	アメリカザリガニ科		
区分	防除種B		
特長	神奈川県内で発見するザリガニは全て本種である。	侵入経路	ウシガエルの餌として持ち込まれたが、その後は大量に遺棄され分布を拡散した。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	水抜き後に網で、水中にかご罟などを設置して捕獲する。
その他			

ミナミヌマエビ

分類群	その他	原産	日本
学名	<i>Neocaridina denticulata</i>	分布	相模川水系ほか
科名	ヌマエビ科		
区分	防除種B		
特長	陸封種で大型の卵を産む。体色は環境や個体による変異が大きい。	侵入経路	釣り餌として持ち込まれたものが定着している。
影響	交雑	防除方法	
その他	種レベルでは朝鮮半島、台湾、中国に分布する。		